

各業界の知識を 駆使した調査

東谷 友樹

Higashidani Tomoki

国税専門官 | 2017年採用

福岡税務署 法人課税部門



Question

1

現在の仕事内容について教えてください

私は現在、会社の提出した申告書が適切かどうかを調査する法人課税部門に所属しています。申告内容の確認は、税務署の中で提出書類を確認するのではなく、実際に会社に臨場して行います。顧問税理士の立会いのもと、会社の代表者や経理担当者から業務内容や帳簿作成の流れについて聴取し、申告書に記載されている内容が適切なものか判断します。

会社の数年間の動きを数日の調査で把握することは難しく、調査をスムーズに進めるため、その業界についての知識を事前に身につけておくことが重要です。税務調査は税に関する知識だけでなく、様々な知識を駆使して行う仕事です。



Question

2

仕事に対して常に心がけていることはありますか

私が心がけていることは、学ぶ姿勢を持ち続けることです。私達の仕事は専門性が高く、職務を遂行するには様々な知識を正確に身につけておくことが必要です。適切に調査を進めるためにも、日々の自己研さんは欠かせません。自力で学ぼうとすると大変ですが、国税局は研修制度も充実しており、また、上司や先輩方からも丁寧な指導をいただける、学ぶための環境が整った職場なので安心して働けます。また、調査でお話する方たちは年齢や業種もバラバラです。職務についての勉強はもちろん必要ですが、相手方とスムーズにコミュニケーションを図るためにも、いろんなことに興味を持ちアンテナを張っておくことも大切だと考えています。

Question

3

チャレンジしたいことや今後の抱負をお願いします

私は今後、できるだけさまざまな業種の調査を経験してみたいと思います。業種が異なると、取引形態や確認すべき事項も違うため調査手法も変わってきます。新たな知識・技能の習得のためにも、多様な業種の調査を経験したいと思います。

国税専門官は研修制度が充実しており、法人課税部門の実務を経験して2年間が経つと専科研修があります。そのなかでは、調査事案を元にした討議形式のゼミ等も行われます。この7ヶ月間の研修をより実りのあるものにするために、研修前に出来るだけ経験を積んでおきたいので、これまでに行ったことのない業種にチャレンジしていきたいと思います。



メッセージ

Message



専門性が高い職務内容であるため日々勉強で大変な面もありますが、研修制度も充実しているため安心して働くことのできる職場だと思います。今の時点で経済や法律の知識がない方でも、心配する必要はありません。働きながら税務のプロフェッショナルを目指していきましょう。

また、署内でのデスクワークももちろんありますが、会社に臨場する調査が多くアクティブに働くことができます。実際に外に出て人と接し、様々なことを肌で感じながら業務を進めていくことができます。

国家財政の基盤となる税金を正しく納めてもらうために働く、とてもやりがいのある仕事です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。